

## 咳エチケット

- 咳やくしゃみが出る時
- 咳やくしゃみが出そうになったとき  
咳エチケットを守るようにしましょう。
- \* 咳をするときは、鼻・口をハンカチやティッシュで、押さえる。
- \* 続く時は、マスクを着用する。

## 手洗いは感染予防の基本

- 石けんと流水で時間をかけてもみあらい
- 1処理1手洗い
- 手を洗ったら、タオルは個人持ちのものか、ペーパータオルを使用（共用タオルは使用しない）  
ゴム手袋を過信しない  
ゴム手袋を使用しても、不十分な手洗いの場合には感染する

## 2 感染源対策

☆感染しないように気をつけることはもちろん、自分が感染していたら、他人に移さないようにする。

- 症状がある時にはマスクをつける。
- 人込みを避ける。外出を控える。

☆効果的な消毒を行う

## 3 抵抗力をつける

体に抵抗力をつけることで、症状が重くならなかったり、病気にかかっている期間を短くしたりすることができます。

- 抵抗力をつけるためには…
- 栄養バランスに注意して、食事をきちんと摂る
- 睡眠を十分にとる
- ストレスを上手に解消する
- 予防接種を受ける

## 集団感染を予防するために

- 1 早めの受診を勧める
- 2 手洗いを十分に行う
- 3 排泄物・嘔吐物の処理に注意する
- 4 施設や身の周りの物の消毒を実施する

## 消毒液の作り方

### 平常時の消毒

- 0.02%次亜塩素酸ナトリウムに浸した布で拭く



ペットボトルの  
キャップ1杯  
約5mlです





水  
500ML

定期的

手すり  
ドアノブ  
ペーパーホルダー  
トイレペーパー  
水道の蛇口  
机  
椅子  
ベッド回り  
引き出し取っ手  
車椅子の押し手  
三輪車  
おもちゃ等

金属  は後で水拭き

開封してある漂白剤を使用した場合を見込み濃い目の濃度 冷暗所で保管

### 下痢、吐物場所の消毒

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウムに浸した布で拭く又は  
消毒液で10分以上浸す



ペットボトルの  
キャップ1杯  
約5mlです





水  
3 L

換気

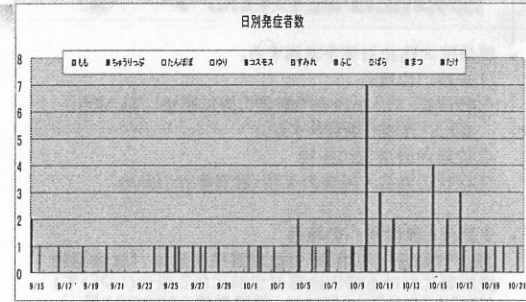
開封してある漂白剤を使用した場合を見込み濃い目の濃度

## 感染症が疑われたら・・・①

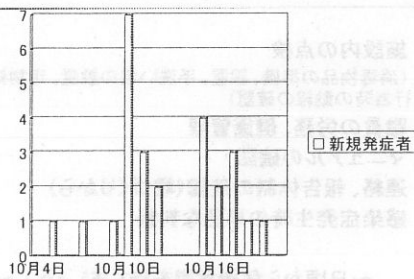
### ■ 状況確認をする。(部屋ごとに)

- ①入所者と職員の健康状態(症状の有無等)
- ②受診状況と診断名及び検査の有無と治療状況
- ③約2週間前までの行動と症状の有無
- ④重傷者の有無
- ⑤家族・面会者の健康状態

## A施設での下痢発症状況



## 感染クラススの発症状況



No.	氏名	年齢	性別	備考	1月15日(1日目)		1月16日(2日目)		1月17日(3日目)		1月18日(4日目)	
					発熱	下痢	発熱	下痢	発熱	下痢	発熱	下痢
1	田中 花子	4	女		○	○						
2	田中 太郎	5	男				○	○	○			
3	田中 二郎	4	男					○	○	○		
4	田中 洋子	4	女						○	○		
5	田中 〇子	5	女									○
6	田中 〇男	4	男									○
7												
8												
9												
10	田中 一子	28	女							○		○
11												

発熱対応-発熱  
 トイレ・洗面所の消毒  
 保護者への通知  
 教室内消毒

## 感染症が疑われたら・・・②

- 感染拡大防止対策を実施する。
  - ①手洗いの実行
  - ②排泄物・おう吐物等の処理の際に感染しないよう、正しい方法で処理をする。
  - ③施設内の消毒の実施
  - ④症状のある入所者の受診・個室療養の勧め
- 主管課と保健所への報告  
厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」  
(平成17年2月22日付け 雇児発第0222001号)

## 施設での感染予防策

- マニュアル作成
  - ・日常中での予防方法
  - ・感染症が発生した場合の対応策  
→だれでも確実に対応できるようにする
- マニュアルの実践
  - ・職員一人ひとりが感染予防を心がけ、実践することが、最大の予防方法になる。  
これ位は大丈夫・・・が、感染を拡大する。

→職員の健康管理の徹底、職員及び利用者に対する手洗い・うがい等の励行などの衛生教育の徹底

年1回職員に関する研修の実施

## 私がすることは？

- 入所者の普段からの健康状態を把握していますか？  
(最近、咳をしている人が多い、残葉が多いなど施設内サーベランスなど)
- ・ 早い時点で気づきましょう。  
(あれ？最近多いぞ！と気づけば対策がとれます。早ければ、感染拡大を防げます。気づき、情報を施設全体で共有することも重要です)
- ・ 正しい手洗い、適切な消毒を実践しましょう。  
(全職員が実践できなければ、拡大は防げない。まず知識の習得)
- ・ 早めの受診をすすめましょう。  
(体調不調時は早めの受診が重症化を防ぎます。主治医との連絡を密にしましょう)
- 規則正しい生活を  
(自分自身の健康管理。感染源、媒介者にならないこと。)

## 管理者・指導者として

- 施設内の点検  
(消毒物品の準備、設置。手洗い場の設置。汚物処理行為時の動線の確認)
- 職員の労務、健康管理
- マニュアルの確認
- 連絡、報告体制の確認(場づくりから)
- 感染症発生時の早急な判断

～日頃から危機意識を持ちましょう！～